

平成 29 年度 第 2 回花巻新渡戸記念館運営協議会の会議録

期日：平成 30 年 2 月 23 日(金)

場所：花巻新渡戸記念館事務室

日時 平成 30 年 2 月 23 日(金) 13 時 30 分～14 時 35 分
場所 花巻新渡戸記念館事務室
出席委員 木村清且、内館勝人、小川淑子、佐藤 脩、平塚正隆、福盛田 弘 計 6 人
欠席委員 高橋トシ 計 1 人
事務局 花巻新渡戸記念館 嶽間澤茂館長、菊池喜一副館長、中島明子主査

■会議の顛末

○会議成立及び傍聴希望者の報告（菊池副館長）

予定の時刻になりましたので始めさせていただきます。それでは最初に、本日の会議の成立についてご報告いたします。本日は、委員 7 名中 6 名の方に出席していただいておりますので、新渡戸記念館管理運営規則第 9 条第 2 項の規定により会議が成立していることを報告いたします。

なお、本会議の傍聴希望者が 1 人いることを報告いたします。

1 開会（菊池副館長）

それでは、ただいまから平成 29 年度第 2 回花巻新渡戸記念館運営協議会を開催いたします。

次に、あいさつを市川生涯学習部長から申し述べる予定でしたが、都合により欠席のため、嶽間澤館長があいさつを申し述べます。

2 あいさつ（嶽間澤館長）

本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

昨年 10 月 7 日の新渡戸フェスティバルでは、文部科学省・教科書調査官の森上優子さんに「新渡戸稲造の教育思想」という演題で講演していただきました。今年 10 月 6 日の新渡戸フェスティバルでは、「新渡戸稲造の至言」という本を書いた長本裕子さんに講演していただく予定です。詳細については、後ほどご案内させていただきます。

最近、全国的に新渡戸稲造にスポットが当たっておりまして、NHK の E テレで放送されました。めんこいテレビでも、ドイツ留学の時代の稲造のことが特集されました。

11 月末には、札幌で「新渡戸稲造サミット」があります。全国の新渡戸稲造に関わる施設や団体を集めた会議で、当館からは、学芸員の中島主査が出席いたします。

青森県十和田では、稲造の父・十次郎の没後 150 年ということで、地元の新聞が特集を組んでおります。それから、十次郎が手掛けた穴堰がそのまま残っているので、新たにそういった所にスポットを当てて、紹介しようという試みがございます。

「岩手の博物館」という新聞のシリーズに、当館も取り上げていただきました。この新聞は、県内の小中高校の校長と副校長および退職した校長と副校長で組織している団体に配布されております。

本日は、様々な意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

(菊池副館長)

続きまして、木村運営協議会長からあいさつをいただきます。

(木村会長)

先日、宮古島へ行ってきました。さとうきびから砂糖を作る工場がありまして、余ったものからエタノールを作っているんですね。大変興味深いものがあり、今度はぜひ台湾に行って、新渡戸稲造の足跡に触れたいものだと思います。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

(菊池副館長)

それでは、新渡戸記念館管理運営規則第8条第2項の規定により、会長が会議の議長となることから、木村会長に議事の進行をお願いいたします。

3. 議事 (議長:木村会長)

(木村会長)

それでは、議事(1)の平成29年度事業及び利用状況等の報告について、事務局から説明をお願いします。

(菊池副館長が資料に基づき説明)

(木村会長)

ありがとうございます。それでは事務局から説明のありました内容について、何か質問がありましたらお願いいたします。

(平塚委員)

ただいま副館長からクーポン券の利用について、花巻観光協会が一番多いという説明がありました。手前どもでは現在、「どんぐりとやまねこ号」という文化タクシーのレトロハイヤーを使用して運行しております。平成28年度と29年度を比べると、約30%の増となっている状況です。

手数料10%が入るということになってはおりますけれども、この「どんぐりとやまねこ号」は、市の補助金を受けての企画でありますので、手数料10%分が引かれていることを承知いただきたいと思います。

なお、平成30年度におきましても、「やまねこ号」のコースに新渡戸記念館が入っております。

(内館委員)

移動研修の定員は20名だったのですか。

(菊池副館長)

はい。20名の定員で募集しております。

(小川委員)

研修は、参加費をいただいているのですか。

(中島主査)

はい。三戸城にある歴史民俗資料館の入館料と保険料です。昼食会場は当方で予約しましたが、昼食代は各自の負担です。

(福盛田委員)

こういった記念館にとって、企画展や特別展の役割が大きいと思うのですが、年次計画のようなものがあるのでしょうか。

(嶽間澤館長)

大きな見通しを持っての企画展というのは、なかなか出来ないのですが、来年度は新渡戸稲造の書籍に関してを扱いたいと考えています。稲造は「武士道」以外にも様々な著書があるので、シリーズ化も検討しております。

また、以前に展示した紙芝居（稲造の生涯を紹介したもの）をパンフレット化して、市内の小学校6年生の希望者に配布しようという試みがあります。

桜台小学校と宮野目小学校は毎年継続して来ていただいていますので、他の学校にも広めていきたいと思えます。

(木村会長)

他にございますか。

(委員全員)

なし

(木村会長)

次に、議事(2)の平成30年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。

〈菊池副館長が資料に基づき説明〉

(木村会長)

ポイントが2点確認されました。1点目として、入館者の目標数を年間2万5千人から2万人にするということ。それから、屋根等の施設修繕を実施するという事。

まず、入館者の目標数については、了承いただけますでしょうか。

(委員全員)

了承

(木村会長)

続きまして、屋根等の施設修繕関係については、了承いただけますでしょうか。

(委員全員)

了承

(木村会長)

それでは、皆さんからご意見等ございますか。

(木村会長)

修繕に関しては昨年がボイラー、今回は屋根等ということですが、来年も大きな部分の修繕予定があるのですか。例えば、会議室を作るとか。

(菊池副館長)

以前にも会議室のことが話題になったのですが、限られた予算内でということですので、年次計画としまして、平成30年度は屋根の修繕をメインとしております。

ボイラーと冷却塔の更新が終了しましたので、31年度以降では、送風機（エアハンドリングユニット）及び配管の更新を予定しております。

30年度で常設展示内での映像が劣化していることから、新しく映像を作成してから、31年度で新しい映像に見合った映像機器類を更新する予定です。

(嶽間澤館長)

5月から、新渡戸稲造が著わした「帰鴈の蘆（きがんのあし）」という本の展示を行います。稲造が20代の頃に留学した際の思い出話を集めたものです。

海外での出来事について、ユーモアを交えて面白おかしく書いています。これから海外留学を志す中高生にぜひ、見学していただきたいという思いでおります。

(木村会長)

他にございますか。

(委員全員)

なし

(木村会長)

それでは、議事(3)その他に移ります。事務局から何かありますか。

(菊池副館長)

ありません。

(木村会長)

皆さんからは何かございますか。

(委員全員)

なし

(木村会長)

以上で議事を終了します。

4 閉会（菊池副館長）

ご協議、ありがとうございました。以上をもちまして平成29年度第2回花巻新渡戸記念館運営協議会を終了いたします。